「現世でのムスリムの成功とは何か？」

@御徒町マスジドにおける 2018.3.16.金曜フトバ要約 by 杉本恭一郎

1. ムスリム共同体（ウンマ）の成功

オックスフォード英辞典によると、成功とは「目的を達成すること」と定義されています。来世におけるムスリムの成功は「楽園」しかなく、周知の通りです。では現世でのムスリムの成功とは何でしょうか？信仰行為（イバーダ）でしょうか？これは確かに成功ですが、自分の成功だけです。しかし重要なのは「自分たちの成功」です。つまり**「ムスリム共同体（ウンマ）の成功」**です。クルアーン３章 110 節によると、「あなた方は、人類にもたらされた最善の共同体です。あなた方は正しいことを命じ、邪悪なことを禁じ、アッラーを信仰します」とあります。**最善の共同体（ハイラ ウンマ）となること**こそ、現世におけるムスリムの成功であり、これを達成することが成功なのです。ムスリムたちの思考の中心に据えられているべきは、自分ではなく「自分たち」です。最善のムスリムではなく「最善のウンマ」です。自分がすばらしいのではなく「自分たちの共同体がすばらしい」と言えるようになることです。

2. 正義、公正（適材適所）の実践

では最善の共同体をどのように実践するのでしょうか？イスラーム法の定義はクリアです。**「正しいことを命じ、邪悪なことを禁じる」**ことです。それは**現世において「正義、公正（適材適所）」を実践すること**です。この点についてクルアーンに多くの記載があります。16 章 90 節によると、「真にアッラーは**正義（アドル）**と善行、そして近親への供与を命じ、またあらゆるみだらな行為と違法行為、そして嫌がらせを禁じます」とあり、4 章 135 節によると、「信仰する人たちよ、**公正（キスト）を守り、**アッラーに向けて証言をしなさい。たとえあなた方自身や両親、そして近親に不利な場合でも。たとえ富者でも貧者でも、アッラーは両人に最適なのです。だから欲望に従わず、**正義（アドル）をしなさい**」、5 章 8 節によると「信仰する人たちよ、アッラーに（信仰上）堅固にして、**公正（キスト）に証言**しなさい」とあります。

正義や公正はその中核には「アッラーと預言者ムハンマドを自分の父よりも、子供よりも愛する」という価値観があります。なぜなら**アッラーと預言者が正義の基準**だからです。だから、クルアーン３章 114 節によると、「かれらはアッラーと最後の日を信じ、正しいことを命じ、邪悪なことを禁じ、互いに善事を急ぐのです」と記されています。また 57 章 25 節によると「実にわれら（アッラー）は明証を授けて使徒たちを遣わし、またかれらと一緒に、啓典と（善悪の）秤をもたらした。それは人びとが公正（キスト）を行なうためである」と記されています。**使徒たちが遣わされた目的の１つは、現世で正義を確立するためです。**来世ではアッラーが審判の日に正義、公正を確立します。でも現世ではムスリムたちが正義や公正を確立するように努めなくてはいけないわけです。だから 6 章 21 節いわく「実に不正をする人たちは成功しないのです」。

3. 思いやりの実践

私たちの現世での問題のほとんどが、家族の問題と仕事の問題に集中しています。この問題の原因になっているのが人間関係です。そして他人との関係の中で、正義を実践させるものは**「思いやりの心」を実践する**ことです。「自分がして欲しいと思うことを兄弟にできるようになるまでは信仰したとは言えない」（ティルミーズィ）というハディースは有名です。個人の成功から共同体への成功への転換が、現世での成功であり、自分たちの来世への継続的な投資となるのです。結局、アッラーと預言者ムハンマドの教えの枠内において、思いやりを実践すること、**アッラーとの関係そして自分たちの人間関係を最善にすること**が現世におけるムスリムの成功なのです。